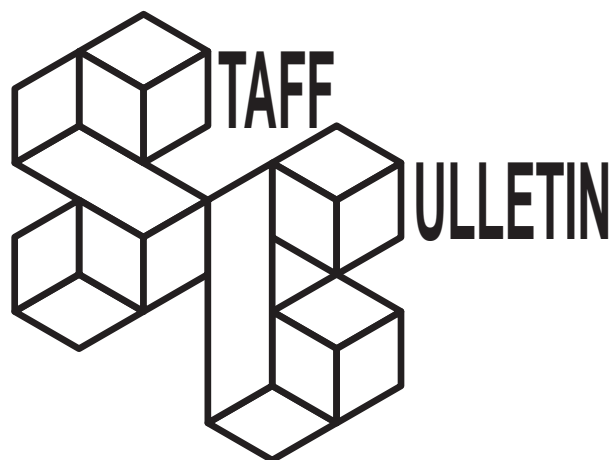


UNIVERSITY OF TSUKUBA

15 2001

筑波大学広報・公開室編集
企画調査室発行
平成13年9月5日
通巻1015号
速報つくば



平成13年度筑波大学「第2学期入学者」入学式



式辞を述べる北原学長

平成13年度筑波大学「第2学期入学者」入学式が、8月8日（水）11:00から学生会館特別会議室において行われました。

式は、学長式辞の後、腰塚教育担当副学長から役職者の紹介があり、閉式となりました。

なお、入学者数は、学群学生38名（第2学期推薦入試による入学者27名（女子16名）、AC入試第一期入学試験による入学者11名（女子5名））、大学院学生3名（女子0名）でした。

腰塚武志副学長が、形の科学会功労賞を受賞



腰塚武志副学長は、このたび形の科学会功労賞を受賞しました。受賞理由は、積分幾何学に基礎をおく一連の都市構造に関する論文が「形の研究」に多大な貢献をしたこと、及び形の科学会の運営に貢献したこと、によるものです。授賞式は去る7月27日（金）に統計数

理研究所で開催された、2001年形の科学会総会の席上で行われました。

松井剛一教授、文字秀明講師（機能工学系）の研究グループが顕彰される



松井剛一教授



文字秀明講師

松井剛一教授（機能工学系）と文字秀明講師（機能工学系）の研究グループは、このたび、旧計量研究所（現産業技術総合研究所）等との協力研究論文「超音波流量計の測定部形状と流量特性」が（社）計測自動制御学会から推薦され、非常に優れたものと認められ、（財）油空圧機器技術振興財団により平成13年4月1日付けで顕彰されました。授与式は、去る6月22日（金）に行われ、表彰盾と副賞が授与されました。

長澤俊郎教授（臨床医学系）が桐仁会設立10周年記念臨床医学研究助成金を受賞



長澤俊郎教授（臨床医学系）は「血小板代替物（人工血小板）の臨床応用に関する研究」により、平成13年度桐仁会設立10周年記念臨床医学研究助成金を受賞しました。この助成金は、平成10年に財団法人桐仁会が設立10周年を記念して奨学寄附金として附属病院に助成し、その後、毎年1名臨床医学に係る研究に対して助成されるものです。

大澤幸生助教授（社会工学系）が第5回国際システムサイバネティクス情報学会(SCI2001)Best Paperに選ばれる



大澤幸生助教授（ビジネス科学研究科・大塚、兼科学技術振興事業団研究員）は、その研究論文“Future Directions of Communities on the Web”が第5回国際システムサイバネティクス情報学会（SCI2001・米フロリダ・2001年7月）においてBest Paperに選ばれました。同学会は例年千件を超える論文発表がある大規模なもので、Best Paperは各セッションから推薦された優秀論文から、全体で複数が選抜・表彰されるものです。

谷中清之講師（指導：能勢忠男臨床医学系教授）が財団法人武田科学振興財団2001年度報彰基金を受賞



谷中清之講師（指導：能勢忠男臨床医学系教授）は、このたび財団法人武田科学振興財団より「脳虚血再灌流障害と細胞障害因子の研究」のテーマにより2001年度報彰基金の対象者に選ばれました。本基金は、心臓疾患、高血圧、動脈硬化、脳血管障害、糖尿病に関する予防・診断・治療・リハビリ等、前記疾患を克服するための基礎的ならびに臨床的研究を行う研究者を助成するものです。本研究は筑波大学臨床医学系脳神経外科・腎臓内科及び産業技術総合研究所との協力によって行われ、虚血性脳血管障害における細胞障害因子の解明が期待されています。

成田正明講師（基礎医学系）が乳幼児突然死研究で財団法人武田科学振興財団より医学系研究奨励金を受賞



成田正明講師（基礎医学系）は「マスキリーニングによる乳幼児突然死症候群(SIDS)発症予防のための基盤的研究」により平成13年度武田科学振興財団の医学系研究奨励金を受賞しました。この助成金は医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究を行う研究者に贈呈されるものです。受賞対象となった研究は現在社会的にも大きな関心が寄せられている乳幼児の突然死を未然に防ぐことにつながるもので、先日報道でも大きく取り上げられました。

大島宣雄教授（基礎医学系）指導の医科学研究科3年次三好千香さんが国際会議の奨励賞を受賞



去る8月19日（日）から22日（水）まで、オーストラリアのシドニーで開催された第7回世界微小循環学会（World Congress for Microcirculation）において、大島宣雄教授（基礎医学系）指導下の博士課程医科学研究科3年次の三好千香さんが同学会のYoung Investigator Awardを受賞しました。受賞対象となった論文は、三好さんと修士課程医科学研究科2年次 田口絵里さん、大島教授の共著による「Nitric Oxide Attenuates Leukocyte-Endothelial Cell Interactions in a Peritoneal Disseminated Tumor Model」（腫瘍の新生微小血管における白血球挙動に及ぼす一酸化窒素の影響について論じたもの）で、同学会で発表された演題（シンポジウム約240題、ポスター約200題）のうち、優秀なポスター発表として選ばれたものです。なお、本研究は、大島教授をプロジェクトリーダーとする、日本学術振興会の未来開拓学術研究推進事業の再生医工学プロジェクトの一環として行われたもので、同プロジェクトからは14件目の受賞となります。

今井弘教授（機能工学系）指導の大学院修士課程理工学研究科修了の武田友喜氏が2001年日本建築学会優秀修士論文賞を受賞

今井弘教授（機能工学系）指導の大学院修士課程理工学研究科修了の武田友喜氏が2001年日本建築学会優秀修士論文賞を受賞しました。

受賞者の武田友喜氏は、本年3月大学院修士課程理工学研究科を修了され現在は日本電気システム建設株式会社に勤務される社会人ですが、本賞は、本学大学院在学中の研究に対して授与されたものです。

賞の名称：2001年日本建築学会「優秀修士論文賞」

部門：修士構造 受賞者4名のうちの1名

（応募者数33）

論文名：「マクロモデルによるプレキャスト鉄筋コンクリート造連層耐震壁の設計法に関する研究」

政府の省エネルギー対策について

本学の省エネルギー対策については、「速報つくば12号」平成13年6月20日付け発行にてお知らせしたところですが、政府の省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議においても夏季の省エネルギー対策が次のとおり決定され、文部科学省大臣官房文教施設部から、これらの対策について教職員、学生等への周知方の依頼がありました。

まだまだ残暑が続くものと思われますので、省エネルギー対策に努めてください。

我が国の脆弱なエネルギー供給構造、地球温暖化問題への対応の必要性等現下のエネルギーをめぐる諸情勢を踏まえ、今後、省エネルギーを一層強化することが必要とされているところであります。つきましては、家庭・オフィスにおける省エネルギー活動として、次のような点から省エネルギーのための点検を実施し、その状況を踏まえて、省エネルギーに積極的に取り組まれるようお願いいたします。

1. 冷房中の室温は28℃を下回らないように設定を！
冷房中の室温は、28℃を下回らないように、部屋の温度のこまめな調節に努めましょう。
2. 不必要なエアコンの使用を控えましょう！
1日1時間エアコンの使用を控えましょう。
3. 入浴時にシャワーを流しっ放しにいませんか？
シャワーのお湯の流しっ放しを1日1分間やめることに努めましょう。
4. お風呂を効率的に使用しましょう！
お風呂はお湯が冷めないうちに連続して入浴しましょう。
5. 不必要なテレビのつけっ放しを控えましょう！
1日1時間テレビの使用を控えましょう。
6. 電気製品の主電源が入りっ放しになっていませんか？
電気製品の待機時消費電力は決して小さくありません。電気製品の主電源をこまめに切りましょう。
7. 給湯温度を低くしましょう！
食器洗いに使用するお湯の温度を5℃低くしましょう。
8. 冷蔵庫を効率的に使用しましょう！
冷蔵庫に物を詰め込みすぎると冷気の流れが悪くなり、余分な電力を消費します。
9. 洗濯機を効率的に使用しましょう！
洗濯機を使用する際には、すすぎ前の脱水、適正量での洗濯等に心がけましょう。
10. 掃除機を効率的に使用しましょう！
掃除機を使用する際には、集塵袋の手入れ等に心がけましょう。
11. 照明はこまめに消灯を！
12. 白熱電球から蛍光灯への付け替えを！
照明にはエネルギー使用量が少なく済む蛍光灯を使いましょう。
13. エレベーター、照明の一時停止を！（本学全体の事務室、講義室等の照明器具を昼休みに1時間消灯した場合、年間約1,400万円の電気料が節約できます。）
14. 徒歩、自転車の利用を！
短距離の移動に際しては、なるべく徒歩や自転車を利用しましょう。
15. 自動車の適正な使用を！
自動車を利用する際は、駐停車時のアイドリングスト

ップ、急発進・空ぶかしの抑制、タイヤの空気圧の適正化を始めとする点検・整備の励行等自動車の適正な使用に心がけましょう。

16. 自動車の利用の自粛を！

(財務委員会副委員長 桑原敏明)

平成13年度(財)鹿島学術振興財団研究者派遣、招へい及び受入れ候補者(自然科学関係)の募集

1. 研究者海外派遣援助

分野： 都市並びに居住環境の向上 災害・公害の防止 国土の有効利用と保全 交通・輸送能力の向上 海洋の利用と保全 水資源の確保と有効利用 エネルギー及び資源の有効利用・輸送・貯蔵 廃棄物の処理と再資源化 文化的遺産・自然環境の保全 そのほか我が国の学術の発展、学術の国際交流に寄与する活動

対象者： 短期 外国において研究者と討論、あるいは大学等で特別講演等を行う我が国の上級研究者(教授級)ただし、国際会議・国際研究集会等出席は対象外

長期 外国において単独又は共同の研究を行い、その研究分野の発展に寄与する中堅研究者(助教授、講師、助手)

期間： 短期 3ヵ月以内 長期 1ヵ年
(平成14年4月以降の派遣)

助成内容： 短期 渡航費(往復)、
外国内旅費及び滞在費約15,000円/日
長期 渡航費(往復)、
滞在費約10,000円/日

2. 外国人研究者招へい・受入れ援助

分野： 上記「1.研究者海外派遣援助」と同じ

対象者： 短期 我が国において研究活動を行っている研究者と討論、あるいは大学等で特別講演等を行う外国の上級研究者(教授級)

長期 我が国において単独又は共同の研究を行い、研究分野の発展に寄与する中堅研究者(助教授級)及び若手研究者(助手、大学院生)

期間： 短期 3ヵ月以内 長期 1ヵ年
(平成14年4月以降の招へい・受入れ)

助成内容： 短期 渡航費(往復)、
国内旅費及び滞在費約17,000円/日
長期 渡航費(往復)、
滞在費 中堅研究者約10,000円/日
若手研究者約190,000円/月

学内締切：平成13年11月9日(金)

ただし、事務区は別途設定

問合せ先：対応事務区または

国際交流課(国際学術 6077)

1. 国際学術共同研究

対象者：国内及び海外の大学等の研究者からなる共同研究グループ

助成内容：1千万円以内/1件

採用件数：3件(2002年度に行われる共同研究)

2. アジア地域重点学術研究

対象者：国内及びアジア地域の大学等の研究者からなる共同研究グループ

助成内容：2百万円以内/1件

採用件数：20件(2002年度に行われる共同研究)

3. 外国人研究者等招致

対象者：国内の大学等の研究者の申請に基づく海外の研究者(既に来日している場合は対象外)

助成内容：2百万円以内/1名

採用件数：10名(2002年度に行われる研究)

先方締切：平成13年10月31日(水)

ただし、学内の締切りについては各事務区等に事前に確認すること

問合せ先：対応事務区または

国際交流課(国際学術 6077)

液体ヘリウム・液体窒素の供給停止のお知らせ

— 低温センター —

低温センターでは、定期自主検査のため次の期間供給を停止します。

液体ヘリウム 9月25日(火)～10月5日(金)

液体窒素 9月25日(火)～9月28日(金)

アクセスポイント供用開始について

学術情報処理センター

高速キャンパス情報ネットワークシステムにおいて導入されたアクセスポイントの供用を9月3日(月)から開始しておりますのでご利用ください。アクセスポイントは、教室などの共用スペースへのネットワーク環境整備の一環として導入されました。利用者個人がノートパソコン及び無線LANカード等のネットワーク機器を準備することにより、学内ネットワークを利用することができます。利用のために必要となる申請方法及び機器の設定方法の詳細につきましては、下記のURLにてご案内しております。

<http://www.cc.tsukuba.ac.jp/accesspoint/>

第一学群C棟206教室及び第二学群D棟303・304教室の開放について - 学術情報処理センター -

教育用計算機システムの活用のため、次のとおり教室を

開放しておりますのでご利用ください。

第一学群C棟206教室

1. 開放期間

・平成13年9月3日(月)～11月26日(月)

・平成13年12月3日(月)～12月25日(火)

・平成14年1月7日(月)～3月7日(木)

ただし、月曜日～金曜日までとし、休業日は除く。

2. 開放時間

8:30～17:00まで

ただし、授業で使用している時間は除く。

3. 設置機器

・クライアントコンピュータシステム

富士通 FMV-610GSL6e 40台

・モノクロレーザプリンタ

リコー NX910 2台

第二学群D棟303・304教室

1. 開放期間

・平成13年9月3日(月)～11月26日(月)

・平成13年12月3日(月)～12月25日(火)

・平成14年1月7日(月)～3月7日(木)

ただし、月曜日～金曜日までとし、休業日は除く。

2. 開放時間

8:30～17:00まで

ただし、授業で使用している時間は除く。

3. 設置機器

・クライアントコンピュータシステム

富士通 FMV-610GSL6e 40台

富士通 FMV-610GTX6 2台

・モノクロレーザプリンタ

リコー NX910 2台

TULIPS オリエンテーション

図書館のホームページの利用法はご存知ですか？

附属図書館では筑波大学電子図書館を運用し、さまざまな情報提供サービスをしています。TULIPS オリエンテーションでは、主にWWW版OPAC(蔵書検索システム)とOnline Journalについて説明と検索実習を行います。

日時・場所

中央図書館 グループ視聴室

およびコンピュータ利用室(新館2階)

9月13日(木)、18日(火)

体芸図書館 情報検索コーナー(2階)

(9月25日(火)以降に行います)

医学図書館 レファレンスデスク(1階)

(10月から始まります)

各 15:30～16:30

内容：説明と検索実習

定員：各回 10名
 申込先：各図書館レファレンスデスク

第82回つくばブレインサイエンス・セミナー（9月定例会）のお知らせ

次のとおり「第82回 つくばブレインサイエンス・セミナー」を開催しますので、是非ご参加ください。

日時：平成13年9月18日（火） 18:00より
 場所：医学専門学群棟 臨床講義室（A）
 演題：「文字と絵の脳科学」
 講師 岩田 誠
 （東京女子医大・脳神経センター）

このセミナーは、「動的脳機能とこころのアメニティ特別プロジェクト」、医科学研究科（修士課程）及び医学研究科（博士課程）との共催セミナーです。

基礎医学系 TBSA事務局 大野忠雄（代表）
 Phone: 0298-53-3098, Fax: 0298-53-3495,
 E-mail : tbsa@igaku0.md.tsukuba.ac.jp
 (Tsukuba Brain Sci. Assoc.),
 Home Page: <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tbsa/>

平成13年度における組合員証等の検認について

国家公務員共済組合法施行規則第92条により組合員証等の検認を下表「実施計画表」により9月中に実施いたします。つきましては、下記の組合員証等を各組織等の共済事務担当係へ提出期限までに提出してください。なお、検認期間中に組合員及び被扶養者の療養のため、組合員証等を必要とする場合には「共済組合員資格証明書」を発行致しますので、それぞれの共済事務担当係まで申し出てください。

1. 共済組合員証 (全員)
2. 被扶養者申告書 (全員)
3. 遠隔地被扶養者証 (発行を受けている組合員)
4. 特定疾病療養受領書 (発行を受けている組合員)

組合員証等の平成13年度における検認実施計画表

各組織・部課等	検認日
総務部	9月11日
経理部	9月11日
学務部	9月11日
学生部	9月11日
研究協力部	9月11日
図書館部	9月11日
施設部	9月11日

病院部	9月14日
附属病院	9月14日
短期大学課	9月11日
第一事務区	9月13日
第二事務区	9月20日
第三事務区	9月12日
体芸事務区	9月12日
医学事務区	9月19日
先端学際領域研究センター	9月18日
外国語センター	9月18日
農林技術センター	9月18日
体育センター	9月18日
学術情報処理センター	9月18日
教育機器センター	9月18日
計算物理学研究センター	9月18日
附属学校	9月21日
学校教育事務部	9月21日
下田臨海実験センター	9月18日
菅平高原実験センター	9月18日

上記検認実施計画表によりがたい事情のある場合には、経理課共済組合係と協議のうえ、別途9月中に検認を受けてください。

「歌舞伎鑑賞」参加者募集のお知らせ

教職員レクリエーション行事の一環として、「歌舞伎鑑賞」を次のとおり実施しますので、是非ご参加ください。

期 日 10月13日（土）12:00開演
 場 所 国立劇場
 演 目 大願成就 殿下茶屋聚
 募集人数 100名（1等A席）
 対象者 筑波地区の教職員及びその家族
 個人負担金 教職員 1,800円
 被扶養者(1名まで) 3,000円
 上記以外の家族 5,980円

被扶養者とは、共済組合員証に記載された家族です。

申込方法等 9月27日（木）までに所定の申込書に必要事項を記入の上、申し込んでください。なお、申込者が多数の場合は、抽選により決定します。前売券を購入しますので、払戻しはできません。

問合せ先 人事課福祉第一係（2055,2062）

屋内プールの一般公開（学生・教職員対象）について

下記の日時にプールを公開します。ただし、都合により中止する場合があります。

中止の場合は、プールに掲示します。なお、水泳キャッ

ブを被っていない方の利用はできません。また、入場の際には、必ずプール使用申込書に必要事項を記入してください。

期 日：9 月 (月) (水) (金)
10日 12日 14日
17日 19日 21日
26日 28日

時 間：17:00～18:30

問合せ先：体育センター（2881）

野外活動実習場（野性の森）利用予定者事前講習会のお知らせ
— 体育センター —

野外活動実習場（野性の森）が、より多くの利用者により長く喜ばれる施設として存続するよう、毎年「利用予定者事前講習会」を実施し使用方法の徹底をはかってきました。今年度も、利用予定の団体（教職員及び学生）を対象に「利用予定者事前講習会」を開催していますので、事前講習会に参加した人がいない団体は、必ず参加してください。

日 時：9月8日（土）午前10:00～11:00

場 所：野外活動実習場（野性の森）

対 象：野外活動実習場の使用を予定している団体の代表者

内 容：利用上の諸注意、利用申請手続き説明、受講登録、簡単な作業

持参品：筆記用具、軍手

なお、9月8日（土）以前に利用する予定がある場合は、体育センター事務室（2871・2587）にご相談ください。

花卉の販売について — 農林技術センター —

花卉の販売場所、日時、方法が変更になりますのでご利用ください。

場 所：生産品販売所裏の販売用温室

販売日：月・水・金曜日

会計受付時間：9:00～12:30 13:00～15:00

販売方法：販売用温室内のご希望の花卉に付いている名前と金額の入ったラベルを事務室までお持ちください。会計は事務室で行います。

センターの都合により販売を中止にすることがあります。

甘藷（サツマイモ）の販売について

— 農林技術センター —

次のとおり生産品の販売をしますのご利用ください。

販売品：サツマイモ（品種 ベニアズマ）

価 格：2,600円 / 20 kg

予約先：農林技術センター事務室（2545,2543）

予約受付時間：月～金曜日 9:00～12:00

受渡しについては、生産品の準備ができ次第当センターより電話連絡します。

なお、生産予定数を超えた場合には、予約受付を終了します。

筑波大学・同窓会「茗溪会」への入会申込受付について（ご案内）

6月5日発行「速報つくば」にて最初のご案内をいたしました。大学支部といたしましては、再度、さらに多くの入会者をお迎えするために入会申込受付のご案内を申し上げます。

この案内は、昨年の6月、本学の同窓会である「茗溪会」理事会で、卒業大学に関わらず、現職の全ての教官・技官・事務官（以下、教職員とする）を「客員」として処遇すること、及び、すべての教職員を対象に、希望者は茗溪会に入会できることの決定がなされたことを受けてのものであります。

入会手続きは、次のとおりです。どうぞ積極的にご入会いただきますよう期待いたしております。

入会手続き：希望者は、学内メール、e-mail、ファックスを使用し、氏名、生年月日、所属学系、職名を、下記にご連絡くださるようお願いいたします。

なお、お仲間をお誘いの上、同時にご連絡いただければ幸いです。

年度会費：3,500円

支部会費：1,000円

入会金：免除

（茗溪会会費納入規則付則第1条）

連絡先：山中邦夫（体育科科学系）

Tel & Fax 2664

e-mail：yamanaka@taiiku.tsukuba.ac.jp

平成13年度筑波大学第1学期末卒業式



学位記を授与する北原学長

平成13年度筑波大学第1学期末卒業式が、7月25日（水）13:00から、大学会館特別会議室において行われました。式は、学長から卒業生一人ひとりに学位記授与の後、学長式辞、卒業生代表の謝辞があり、閉式となりました。なお、卒業生数は、25名（女子13名）でした。

「平成13年度受験生のための筑波大学説明会」



7月26日（木）及び27日（金）の両日に「平成13年度受験生のための筑波大学説明会」を開催しました。第1日目の第二学群、医学専門学群及び体育専門学群の説明会には、全国の各都道府県から2,097名が、また、第2日目の第一学群、第三学群及び芸術専門学群の説明会には2,622名（計4,719名）の参加者がありました。両日とも、最初に大学会館講堂において全体説明会が行われ、北原学長から「自分に合った良い大学を選択してほしい」との挨拶があった後、在学生や事務職員の誘導により、それぞれの専門学群・学類の説明会場に移動し、教官及び在学生より教育課程・授業の特色や学生生活、進路状況等について説明が行われました。また、大学会館の特別会議室では、アドミッションセンター教員による入試相談コーナーが開設され、高校等の進路指導教員や参加者からさまざまな相談が寄せられました。

受験生のための筑波大学医療技術短期大学部説明会



「受験生のための筑波大学医療技術短期大学部説明会」が7月23日（月）と8月20日（月）に開催され、当日は、坂庭部長の挨拶に続き、短期大学部の教育課程、進路・就職状況及び入学試験について、また、在校生から学生

活について説明があり、質疑応答の後、参加者は班別に分かれて各実習室や学生宿舎等を見学しました。

第1回〔7月23日開催〕

参加高校数 57校（県内27校、県外30校）

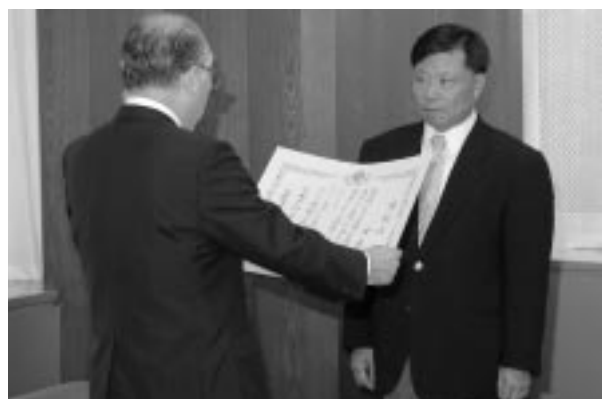
参加者数 146人（県内90人、県外56人）

第2回〔8月20日開催〕

参加高校数 69校（県内31校、県外38校）

参加者数 156人（県内79人、県外77人）

学長よりソウル大学に感謝状が贈呈される



感謝状を贈る北原学長

蹴球部は、7月18日（水）から24日（火）まで、韓国・ソウル大学（Seoul National University）蹴球部（役員4、選手22名）を迎え、本学グラウンドを中心に交流試合を行いました。今回で20周年の節目を迎えたのに対し、北原学長よりソウル大学蹴球部監督・金義珠（Kim Ui Soo）教授に感謝状と記念品が贈呈されました。

この交流は、1982年7月のソウル大学の来学から開始され、両校が交互に訪問するという形で行われてきました。

2002年は、日韓共同開催のワールドカップ開催年に当たり、両校蹴球部は今後もより幅広い交流を目指し、できる限り継続することを確認しました。



桐茗会が開催される

第3回桐茗会（学校教育事務部新旧職員懇親会）の総会・懇親会が7月13日（金）に学校教育事務部で開催され、会長の西田安雄氏（初代事務部長）をはじめ、宗形郁夫氏、武政金太郎氏、柴田和夫氏、渡辺省吾氏、土生木精一氏、山口紀代志氏の歴代事務部長や学内外に異動

した旧職員など、現職を含め約40名の参加者がありました。

総会では、西田会長から挨拶の後、岡田事務部長から学校教育事務部の現状報告があり、次いで、会長からの辞任の申出を受け、互選の結果、会長として、宗形郁夫氏（第2代事務部長）が選出されました。また、次回開催日程が審議されました。

さらに、懇親会では、第4代事務部長の柴田氏の挨拶、第5代事務部長の渡辺氏の発声による乾杯の後、懐旧談や近況報告などに花が咲き、盛会のうちに閉会しました。

なお、次回は、平成14年7月5日（金）または7月12日（金）に開催を予定しております。



食中毒防止に関する講習会を開催



文京保健所左近孝子氏による講義

附属学校の給食関係者全員（学校栄養職員、調理業務従事者、給食事務担当者等）を対象とする本年度で4回目となる標記講習会が、第2学期の給食が開始される直前の8月24日（金）に文京区大塚の学校教育事務部で開催されました。

この講習会は、腸管出血性大腸菌のO157やサルモネラ菌等による食中毒が多発している現状に鑑み、給食における栄養管理の推進を図るため、平成10年度から開催されているもので、本年度は文京区文京保健所食品衛生監視員の二階堂紀輝氏及び左近孝子氏による「食中毒発生の現状とその対応について」と題した講義を始め、「給食施設における温度管理について」、「健康保菌者にならないための365日」及び「食中毒予防のポイント」

について附属学校の学校栄養職員による講義、報告等が行われました。

Web型オンライン事務システム【筑波大学WebOffice】が実務稼働を開始



「WebOffice」の操作説明をする高崎情報処理課長

全学的な事務情報化・ペーパーレス化に向けたシステムとして、Web型オンライン事務システム「筑波大学Web Office」が7月30日（月）に事務局において実務稼働を開始しました。

本システムの現在の主な機能は、行事予定表、事務局各部署配置図、スケジュール管理、施設予約、事務局掲示板、職員検索などです。また、人事マスターと直結した個人認証システムや、暗号化通信などセキュリティ対策にも万全を期しており、今後電子帳票化の推進、教官・学生への開放など全学的な展開が図られていく予定です。

なお、実務稼働に先立ち、7月18日（水）には大学会館国際会議室を会場として、同システムの講習会を実施しました。筑波地区のパソコンリーダーを中心に61名が受講し、操作説明及び質疑応答が行われました。

教職員卓球大会の結果



優勝及び4位入賞を果たした第三事務区チーム

筑波地区の教職員卓球大会が、7月16日（月）～25日（水）にかけ、第三体育館において、36チーム約330名が参加して熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

優勝 第三事務区 B
準優勝 医学事務区 B
第三位 第一事務区 A
第四位 第三事務区 A

学内専用情報ページの開設について

広報・公開室では、国立大学の独立行政法人化に関する動向や、その他各種情報を教職員の皆さまに提供するため、8月1日（水）より、本学 web ページ(URL: <http://www.tsukuba.ac.jp:8000/dStaff/staffindex.html>)に、学内専用情報ページを開設いたしました。どうぞご活用ください。

評議会（臨時）

7月3日（火）の会議では、●図書館情報大学と筑波大学との統合に係る平成14年度概算要求について、了承された。

評議会

7月19日（木）の会議では、●筑波大学学則の一部改正について、●評議会の自己点検・評価について、それぞれ了承された。●図書館情報大学と筑波大学との統合に係る平成14年度概算要求について、●「平成14年度入学者選抜に関する要項」について、●「平成14年度アドミッションセンター入試学生募集要項（第 期）」について、●国立大学の法人化問題について、●「クリーン・デー」の実施結果について、●教員の文書による厳重注意について、●筑波大学博士課程大研究科創設記念式典について、●評議会の開催日程の変更について、それぞれ報告があった。

学長・副学長会議

7月12日（木）の会議では、●評議会の自己点検・評価について、評議会に諮ることが了承された。●大学間交流協定の締結について、●筑波大学篤志解剖体慰霊式実施計画（案）について、●評議会の議題について、それぞれ了承された。●「平成14年度入学者選抜に関する要項」について、●「平成14年度アドミッションセンター入試学生募集要項（第 期）」について、●平成13年度筑波大学第1学期末卒業式について、●平成13年度筑波大学大学院学位記授与式（7月期）について、●平成13年度筑波大学「第2学期入学者」入学式について、●平成13年度「受験生のための筑波大学説明会」参加申込み状況について、●筑波大学組織名等の英訳について、●評議会の開催日程の変更について、それぞれ報告があった。

学長・副学長会議（臨時）

7月19日（木）の会議では、●平成13年度第1回筑波大学運営諮問会議について、了承された。●筑波大学学則の一部改正について、評議会に諮ることが了承された。●平成13年度国際交流計画事業費による職員の海外派遣について、●平成13年度国際交流計画事業費による海外派遣者の変更について、それぞれ了承された。●図書館情報大学と筑波大学との統合に係る平成14年度概算要求について、●国立大学の法人化問題について、●先端学際領域研究センタープロジェクト客員研究員の委嘱について、●「クリーン・デー」の実施結果について、●教員の文書による厳重注意について、●筑波大学博士課程大研究科創設記念式典について、それぞれ報告があった。

研究審議会

7月12日（木）の第297回会議では、●平成12年度版年次報告書原案が、●平成15年度特別プロジェクト研究組織の要求事項の審査を行うワーキンググループの設置が、●平成13年度学内プロジェクト研究の採択原案が、●平成12年度に着手する大学評価について、分野別研究評価（医学系）医学))の自己評価書の提出にあたっては会長及び副会長に一任することが、それぞれ承認された。また、●平成13年度一般受託研究の受入れ（7件）について、●平成14年度日本学術振興会特別研究員の申請状況について、●平成13年度民間等との共同研究の受入れ（7件）について、●大学間交流協定の締結について、●平成12年度国際交流の概況について、●科学研究費補助金及び受託研究に係る間接経費の取扱いについて、それぞれ報告があった。

教育審議会

7月17日（火）開催の第303回会議では、●平成12年度筑波大学年次報告書原案が承認された。●筑波大学学則等の一部改正について承認された。●平成13年度教育関係経費の配分について承認された。●平成13年度学生実地指導旅費の配分について承認された。●平成14年度転学群・転学類志望者の取扱いについて承認された。●学群入学情報の開示に関する検討委員会の設置について承認された。●平成13年度非常勤講師（外国人）時間数の追加配分について承認された。●平成12年度に着手する大学評価「教育サービス面における社会貢献」について承認された。●教員会議構成員の追加認定等について承認された。●平成14年度入学者選抜に関する要項について報告があった。●平成14年度筑波大学入学案内について報告があった。●平成14年度アドミッションセンター入試学生募集要項第 期（4月入学）について報告があった。●2001年大学院案内について報告があった。●大学間交流協定の締結について報告があっ

た。●平成15年度概算要求作成手順について報告があった。●新たな編入学システムの構築に向けて - ツイニング・プログラム開発のための研究協力者会議報告について報告があった。●教育審議会関係の各種委員会等及び教育関係各センター運営委員会の報告があった。●10月12日開催予定の大研究科記念式典について報告があった。

医療関係委員会

7月11日(水)の第154回会議では●附属病院の平成13年度6月分の経営状況について、診療費用請求額、医療費率、患者診療経費執行状況、病床稼働率及び院外処方せん発行率について報告があった。●社会保障審議会医療分科会における筑波大学附属病院に対する措置について報告があった。●平成14年度概算要求の状況について説明があった。●第140回筑波大学医の倫理特別委員会の審査結果について報告があった。●「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に則した審査体制の検討状況について報告があった。

博士課程委員会

7月4日(水)の第278回会議では、●平成13年度大学院博士課程担当教員及び研究科教員会議構成員について原案どおり認定された。●課程修了の認定及び学位(博士・修士)の授与資格については課程博士(11名)、論文博士(3名)及び博士課程修士(7名)の授与資格が認定された。●筑波大学学則等の一部改正について原案どおり承認された。●博士(学術)学位論文審査委員会の設置が了承された。●平成13年度大学院博士課程教育関係経費の配分方針が了承された。●その他 大学院学生の身分異動(休学7件、留学1件、退学1件)について承認された。大学院入学資格等の審査に係る研究科が定める基準及び必要と認める書類について了承された。●平成13年度大学院学位記授与式(7月期)について報告があった。●平成13年度大学院博士課程開講科目に係る履修状況について報告があった。●人事書類の簡素化について報告があった。●身体に障害を有する学生への配慮について報告があった。●電子図書館への博士論文の登録促進について報告があった。●臨時評議会の報告があった。

修士課程委員会

7月4日(水)の第278回会議では、●平成13年度大学院修士課程担当教員及び研究科教員会議構成員について原案どおり認定された。●平成13年度修士課程第1学期末課程修了について原案どおり認定された。●平成12年度筑波大学年次報告書(案)について原案どおり了承された。●平成13年度大学院教育関係経費(修士課程分)の配分方針について原案どおり承認された。●筑波

大学学則の一部改正について原案どおり承認された。●修士課程の将来計画について、今後継続して検討することとなった。●修士課程の将来計画に係るWGの設置について2つのWGの設置が了承された。●その他 大学院学生の身分異動(休学1名、退学2名、除籍3名、特別研究学生2名)について承認された。大学院入学資格等の審査に係る研究科が定める基準等について、原案どおり承認された。●平成13年度筑波大学大学院学位記授与式(7月期)及び第2学期入学者入学式について報告があった。●平成14年度修士課程推薦入学試験入学志願者について報告があった。●平成13年度大学院修士課程開講科目に係る履修状況について報告があった。●平成13年度教育改善推進費(学長裁量経費)について説明があった。●大学院説明会等について報告があった。●人事委員会に提出する書類の書式変更について報告があった。●各種委員会の報告があった。

いいのかな?車そのままそこに停め

(交通安全標語入選作品)

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回(通巻1016号)の発行は9月19日(水)、原稿締切りは9月13日(木)となります。

「速報つくば」への寄稿に際しましては、一行25文字(英字・数字は半角)で原稿作成し、できるだけ電子ファイル等で寄稿してください。

学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記事も募集しています。

なお、お寄せ頂いた原稿は、Web上でPDFにして掲載しますので、ご了承願います。また、「速報つくば」のPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/dAbout/booklets2.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は広報・公開室(TEL 2041, FAX 2014)へお願いします。

e-mail:vision@sakura.cc.tsukuba.ac.jp